

### 資料3

令和元年（2019年）10月11日  
障がい者自立支援協議会

# 各部会報告資料

- ・子ども部会（P2）
- ・就労部会（P3-4）
- ・相談支援部会（P5）
- ・精神障がい者地域移行支援部会（P6-7）

## 子ども部会報告

### 1. 今年度の部会運営について

今年度は「教育と福祉の連携」をキーワードに、ミニ研修やテーマに応じて広く参加を呼び掛ける機会を設け、障がいのある子どもの支援者の連携を深める場とする。

### 2. 部会活動

日時	議題
4月10日（水）	・今年度の活動内容について ・ミニ研修「発達支援における子どものアセスメントについて」 （子ども発達支援センター）
5月10日（金）	・今年度の年間スケジュールについて ・ミニ研修「本市の特別支援学校の状況や就学説明会について」 （総合支援課）
6月5日（水）	・本会議報告 ・子どもプラグの現状報告、内容検討（KP5000）
7月9日（火）	・部会主催研修会内容検討 ・余暇支援マップ更新作業 ・子どもプラグ構成説明（KP5000）
8月16日（金）	・部会主催研修会内容検討 ・余暇支援マップ更新作業 ・グループワーク「各事業所や団体で抱える困難事例や課題等について」
9月10日（火）	・ミニ研修「スクールソーシャルワーカーについて」（総合支援課） ・下半期の部会活動内容について

### 3. 今後の予定

下半期は、「私学特別相談員の活動について」、「児童発達支援センター機能強化事業の活動報告」についてミニ研修を予定しているほか、事例検討により障がい児分野での地域課題の抽出などに取り組む予定としている。

部会主催研修会は、市内の障がい児福祉サービス事業所を主な対象に、「教育と福祉の連携」をテーマに基調講演やグループワークの内容で年度内開催を目指して検討中。

## 就労部会報告

### I 就労部会の目的

熊本の就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

会員個人として ・ 情報収集 ・ ネットワーク ・ 学びの場 ・ 自己成長 ・ 相談	組織として ・ 広報活動 ・ 人材育成 ・ 地域貢献 ・ 情報収集 ・ その他
---	--

### II 今年度の取組について

昨年度の班の活動を振り返り、今年度は5つの班に再構成を行った。就労部会の目的に沿って、班ごとの活動を進めている。部会全体ではミニ研修会を開催。8月には相談部会との合同部会を開催した。また「就労フェア」の開催に向けて、企画、準備を進めていく。

#### (1) 4月～9月の内容

以下の日程で部会の開催。ミニ研修においては、運営委員会にて内容を検討し、部会員に情報提供や各班の作業に向けての提案の場とした。

	内容
4月4日(木)	課題についてのグループワーク
5月9日(木)	班構成、リーダー及びサブリーダーの選任、作業内容の検討
6月11日(火)	ミニ研修「サポート企業について」／各班作業
7月8日(月)	ミニ研修「特別支援学校の取り組みについて」／各班作業
8月20日(木)	相談部会との合同開催 ワールドカフェ方式によるグループワーク
9月6日(金)	ミニ研修「サポート企業について」／各班作業

#### (2) 各班作業について

##### **企業就労班**

##### **【一般企業への就労の可能性を広げる取り組みと啓発活動】**

「しごといく vol.8」の作成。企業(4社)への取材に向けて日程調整など行っている。

##### **ホッとワーク班**

##### **【福祉事業所や関係機関の連携を深めるための活動、ツールづくり、情報発信】**

一般就労に関する当事者の意識調査を実施。7月にアンケートを作成し、8月～9月にかけて配布、回収。結果について、10月の部会で報告予定。

##### **ワークイノベーション班**

##### **【福祉事業所のより良い仕事作り、給与・工賃向上に向けた取り組み】**

毎回、各事業所で困っている事例等を提示し、その問題点について協議する。そこで出された解決策を持ち帰り、実践した結果を次回の部会で報告する。(以下、これまで協議した内容)

- ・ 利用開始時の連日通所が難しい利用者について
- ・ A型事業所の利用者が相談支援事業所を通さずに、独自で就労移行支援事業所へ行かれた事例。
- ・ 利用者の高齢化について
- ・ 職員の意識について

### お悩み解決班

#### 【就労支援に関するさまざまな問題点について、その解決に向けて検討する】

毎回、テーマに沿った事例検討を実施し、問題解決に向けての協議を行っている。(以下、これまでの事例)

- ・ 地域におけるグループホームについて考察（当事者参加）
- ・ クローズドでの就職について考える
- ・ 不登校や引きこもりなどで、就労に向かっていないケースについて考察

### 当事者対話班

#### 【当事者会メンバーが主体となり、就労や生活・余暇について考える】

当事者対話班の目的や進め方について協議。今後の活動に向けて参加者を募集するために、チラシを作成。当事者が活用しやすい「就労支援ガイドブック」の作成を検討中。

#### (3) 今後の予定

今後の予定は以下のとおり。2月の就労フェアに向けて、各班作業を進めていく。

	内容
10月	ホッとワーク班の報告（一般就労に関する当事者の意識調査結果）／各班作業
11月	リクルートで実施している在宅就労について
12月	当事者班からの企画
1月	就労フェアに向けての準備
2月	就労フェア開催
3月	年度の振り返り、次年度の計画

## 相談支援部会報告

□部会の年間テーマ

・「相談支援専門員とは」 ～1 から振り返る相談支援の在るべき姿～

	部会開催日時	運営委員会	部会内容
4月	4/11、15:30～ ウエルパル	4/3、14:00～ ウエルパル	K P 5000 説明会 (N P O 法人 K P 5000 原田氏より) 拠点整備状況説明 座談会
5月	5/21、15:30～ ウエルパル、57名	5/23、9:30～ ウエルパル、10名	担当者会議とは (講義、ロールプレイ、グループワーク)
6月	6/10、15:00～ ウエルパル、49名	6/18、15:00～ ウエルパル、12名	・グループスーパービジョンによる事例検討会 (9 事例を検討。委託事業所より事例提供) ※地域課題の抽出までは行わず。
7月	7/23、15:00～ ウエルパル、約 50 名	7/30、15:00～ ウエルパル、9名	・セルフプランについての概要説明及び質疑応答 (様式やフロー図、利用者向けのお知らせを提示)。 ・座談会 (セルフプランの導入について等)
8月	8/20、15:00～ ウエルパル、59名	8/9、15:00～ ウエルパル ※就労部会との打ち合わせ	・就労部会との合同研修会 両部会員の交流・意見交換を目的にワールドカフェ方式を採用し「支援を行ううえで大切にしていること」をテーマに実施。
9月	9/12、15:00～ ウエルパル、集計中	9/4、15:00～ ウエルパル、10名 9/19、9:00～ ウエルパル、10名	・グループスーパービジョンによる事例検討会 (6 事例を検討。事例は特定事業所より提供)。地域課題の抽出まで行う。
10月	10/15、15:00～予定 ウエルパル	10/24、9:00～予定 ウエルパル	(予定) ・学卒者の対応について※就労アセスを含む (講義、事例報告、グループワーク)
11月			
12月			事例検討、座談会
1月			
2月			地域移行支援部会との合同研修会
3月			今年度の振り返り 令和2年度事業計画について

## 精神障がい者地域移行支援部会

### 【これまでの取り組み】

開催日	内容
6月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1回熊本市障がい者自立支援協議会報告</li> <li>○ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業 会議参加報告</li> <li>○ 地域移行支援基礎研修</li> <li>    講話「精神障がい者の地域移行をめぐる動向             ～精神科医療・地域移行支援の現状～」</li> <li>            中野 誠也 氏（地域体制整備アドバイザー/あかね荘 サービス管理責任者）</li> <li>○ グループワーク</li> </ul>
7月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 説明「熊本市の障がい福祉サービスの現状および地域移行支援について」</li> <li>            熊本市障がい保健福祉課 職員</li> <li>○ グループワーク</li> </ul>
8月6日	台風のため中止 ⇒内容は10月部会へ延期
9月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講話「住宅確保要配慮者支援事業の概要」</li> <li>            加来 仁美 氏（熊本県社会福祉協議会 総合相談センター 主任主事）</li> <li>○ グループワーク</li> </ul>

#### ◆ 全体研修の実施

今年度からの新たに部会に参加される方も半数程いたことから、地域移行支援の基礎知識を学ぶことを目的に、精神科病院における入院患者の在院日数や患者数の推移、長期入院患者の地域移行に向けた精神保健医療福祉の施策と現状について研修を行った。

また、本市の地域移行支援の現状と、利用要件・対象者像、支援までの流れを把握する機会や、地域移行を進める中で課題にもなりやすい「住まい」に関して、熊本市社会福祉協議会が取り組む障がい者への居住支援事業について学ぶ機会を作った。

#### ◆ 地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）のサービス利用促進に向けた検討

本市における地域相談支援のサービスについて、「制度」「支援者側」「本人・その他」の3つの面から、課題と利用を進めていくための方法を検討した。

また今年度は、モデル病院および相談支援事業所から地域移行支援のサービス利用モデルケースを選出してもらい、実際にサービスの利用を進めていってもらうとともに、地域移行支援の「サービスを利用した具体的な退院支援」と「サービス申請から利用に至るまでの期間とプロセス」に関して検証を行っている。

### 【今後の予定】

- ・モデルケースによる地域移行支援のサービス利用の進捗確認と検証
- ・自立支援協議会 相談支援部会との合同研修の開催
- ・区毎の地域移行支援への取り組みと進捗報告
- ・今年度活動の報告および振り返り、次年度計画の検討 など